

## 大阪狭山市水循環協議会（第5回） 議事録

開催日時	令和4年12月26日（月） 14時00分～16時00分
開催場所	大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール大会議室
出席者	遠藤崇浩委員（会長）、上田萌子委員（副会長）、木村匡臣委員、上田和徳委員、上田幸男委員、山村歳幸委員、菊屋英一委員、西井兼一委員、松川元英委員、塩屋泰一委員、宍戸英明委員、矢幅保宏委員、栗林禎輔委員
事務局	水資源部長、水資源部治水対策グループ課長、水資源部治水対策グループ課長補佐、水資源部治水対策グループ参事、水資源部治水対策グループ主事
傍聴者	0名
議題(案件)	<p>1 開会</p> <p>2 大阪狭山市水循環計画について</p> <p>3 審議</p> <p>4 閉会</p>
配布資料一覧	<p>資料1 大阪狭山市水循環協議会（第5回）出席者名簿</p> <p>資料2 大阪狭山市水循環協議会（第5回）座席表</p> <p>資料3 大阪狭山市水循環協議会（第5回）説明資料（パワーポイント）</p> <p>資料4-1 大阪狭山市水循環計画 -ビジュアル版-</p> <p>資料4-2 大阪狭山市水循環計画</p> <p>資料5 キャッチコピー提案一覧表</p> <p>資料6 大阪狭山市水循環協議会（第2回）議事録</p> <p>資料7 大阪狭山市水循環協議会（第4回）議事録</p>

議事の経過	
発言者	発言の内容
	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認</li> <li>・委員 14 名中 13 名が出席しており、審議会が成立していることを確認。</li> </ul>
事務局	<p>2. 大阪狭山市水循環計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明</li> </ul>
会長	<p>3. 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、キャッチコピーを決めていきたい。説明資料の案 1～5 が挙げられており、基本的にこちらから選んでいく。決め方を確認する必要があるが、何か意見があればお願いします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員から意見を聞いて、その後に多数決を取るという形はどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局で 5 つに絞った根拠があれば、先に説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この 5 つの案を選んだ基準としては、水の循環、未来、次世代、にぎわい、といった要素に基づいたものである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ一つの案に関する説明は可能か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーをみただけで大阪狭山の水循環であることがわかる、楽しくなるような要素がある、未来・めぐる・まわるというような循環を表す言葉が使われている、歴史的な要素がある、「いけいけ」でため池がたくさんあるイメージを表現している、さやま Go と狭山濠をかけて伝えている、水との共生という考え方が示されている、といった視点で選んでいる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、各委員から、案の 1 から 5 の中で良いと思うものを一つ上げていただいて、その理由について、簡単にご意見をお願いします。</li> <li>・また、より良い言い換え案があれば、あわせて提案いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この中では案 1 が良いように感じる。市民を巻き込んだ形で一体となって価値の共創、みんなで創りだすといった感じも必要かと思う。そのた</li> </ul>

委員	<p>め、「みんなで」といった趣旨の言葉が入っていると良いのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブテーマが「水害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち」と決まっている前提として、その頭につけるキャッチコピーとしては、どの案も良いが、案5の後に「大阪狭山」と入れてはどうか。大阪狭山という言葉はキャッチコピーには必要だと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案5が良いかと思う。市民も水循環や水というものを、飲むもの、お風呂、洗う際に使うなどといった程度であまり意識していないかもしれない。それが、まわりまわって循環している、水と共に生きるというものであるということを意識してもらう一つのきっかけになるのではないかな。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーの中には、大阪狭山を入れるのが良いと思う。</li> <li>・案2の水の未来という表現が良いかと思うので、案2に大阪狭山をつけてはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案3が循環を示す「まわれ」も良いと思う。ただ、水のことを取り扱っているので、「まわれ！大阪狭山」だけで良いのではないかな。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案2が良いと思う。また、水未来の未来はひらがなとして、最後に大阪狭山を入れると良いと思う。下水処理場を水みらいセンターというので、そこにもかかっていると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案5が良いのではないかな。また、他の委員のご意見にもあるように、大阪狭山という言葉が入っている方が良いように思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山だけでなく、大阪を入れることが必要か。他の委員の意見を聞いていると迷うところもあるが、キーワードとして「みんなで」「未来」といった内容を入れていただければと思う。「水と共に狭山の未来」や、大阪を入れるなら「水と共に生きる 大阪狭山の未来」ではどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案2と案5をつないでみるのはどうか。「めぐる恵」で水が貴重であることがわかり、「みんなで」、「共に生きる」という趣旨を入れて、「めぐる恵水と共に生きる 大阪狭山」といった、案2と案5をつないだイメージとすればわかりやすいのではないかな。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章の未来の姿のページをみていると、案3のような単純な方が良いのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山池を中心とするため池で、これからも、水と一緒に生きるという意味を込めて案5に大阪狭山を加えた「水と共に生きる 大阪狭山」が良いと思う。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お示し頂いた5つの案の中では、案1が良いように思った。理由として「わくわく」という言葉がきれいな水が湧いているというイメージ、まちの活性化という印象を受けた。また、大阪狭山という言葉を入れて欲しいという意見もあったので、案1が良いと思う。</li> <li>・キャッチコピーの提案一覧表を拝見した中では「環（わ）」という言葉が良いと感じた。これは、循環ということと、みんなでやっていく、みんなの輪という意味にも取れるところが良いように思う。例えば、これを活かすとすると「大阪狭山 水でつなぐ未来の環（わ）」といったものもあると思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案2か案5で、案5が良いと思う。最後に大阪狭山という地名を付けるのは非常に良いアイデアだと感じた。案5に未来、時間のニュアンスを入れるというアイデアもあった。「未来」という言葉を入れる、あるいは「これからも」などのフレーズを前に入れても未来のニュアンスが出せると考えられる。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論集約の方向性として、まず地名を入れることは決定とします。現状の意見を集約すると、案1が2名、案2が折衷案を含めて3名、案3が2名、案4はおられない、案5が折衷案を含めて6名となっている。案4を選ばれた方はおられないので、これは対象から外すこととします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めぐる恵 水と共に生きる 大阪狭山」という意見が出ていたが、こちらが良いように感じた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは、案2と案5を折衷案に地名を付けたものとなっている。また、アイデアとして賛成意見が多かったのが案2、案5となっている。ここに、案1、案3を選んだ方のアイデアを入れていけば、全体の意見を反映した良いフレーズができていくのではないかと。キャッチコピーとしての長さはどうか。サブタイトルもあるとして、これと合わせてより短い方が良い</li> </ul>

	<p>などの想定は事務局にはあるのか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章の上に○でキャッチコピーを入れる予定の枠が取ってあるが、イメージとしてこれ位の長さ、18文字くらいを想定しているということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に字数については、事前に想定していない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーは表紙には使わないのか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使う方が良いと思う。水循環計画という表題があってその下にキャッチコピーがあって、その下にサブタイトルを入れると三重になってしまう。どこにキャッチコピーが使われるかも重要なポイントと考えられる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブタイトルはいつからあるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回で事務局のイメージをお伝えし、サブタイトルは2回目の協議会からある。ただし、メインのキャッチコピーだけでも良い。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は案2と案5の折衷案となっている。案1に関連して「みんな」や「わ(環)」という概念が入ると良いという意見があったので、ここに上手く入れられると良い。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵は漢字、水は鍵括弧が良いのではないかな。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵の水で貴重な水ということを表現し、めぐるが循環を示すという形で、キーワードが全て入る形になっているのではないかな。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまで説明があったから理解できるが、めぐる恵はわかり辛いかもしれない。また、漢字の方が見栄えとして格好は良いが、子どもにはルビが必要になるのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めぐるめぐみは、発音をするとき、語呂が悪いと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水循環、恵み、先祖代々の資産を継承して次の子孫に渡す、といったキーワードを上手く伝える良いタイトルが他にもなにかあればご意見いただ</li> </ul>

	きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話が発散しないように、ここまでのものを基本に考えるとすると、未来という言葉は良いように感じるので、「めぐる未来 水とともに生きる 大阪狭山」という感じにするのはどうか。ここまでのものをマイナーチェンジして対応するなら、未来も巡り、水も巡り、共に生きる大阪狭山というフレーズでまとまるのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先の提案で、案1、案3の要素も入った形になっていると思うが、これをたたき台としてマイナーチェンジすることで意見集約を図りたい。「めぐる恵」から「めぐる未来」としているが、他に何か意見はないか。「めぐる恵」は、語呂はよくないかもしれないが、「めぐる未来」という表現からはどのようなイメージを受けるか。言葉を入れ替えて、たとえば「めぐる水」などはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めぐる未来」は時代が巡っていくというイメージがある。今は水循環が主題であるとするなら、「めぐる水 共に未来を生きる 大阪狭山」などの形はどうか。また、水の循環と人々の生活の循環の両方がかかっている「未来」を残した方が良いのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めぐる恵 水と共に生きる 大阪狭山」は良いと思うが、恵をひらがなに、めぐるを漢字にして、「循るめぐみ」としてはどうか。漢字の循るは循環の循であり、わかりやすいのではないか。「めぐみ」は漢字でなくとも伝わるものと思われる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きる」を外して、「めぐる恵 「水」と共に未来を 大阪狭山」とするのはどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水と共に未来を」の後は、ハイフン・スペースを入れるなどの形にし、「めぐる恵」は、語呂が良くないとの意見があったが、なにか言い換えの提案はないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めぐる」は漢字が良いのではないか。また、水という言葉は大阪狭山の後に入れて「巡る未来 共に生きる大阪狭山の水」という順番はどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく2つの意見に集約されたと思う。多数決としたいと思うが、他に意</li> </ul>

	見はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めぐる「水」 共に生きる 大阪狭山」という形はどうか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、次の3案を候補として多数決を取ります。  第1案 めぐる恵 「水」と共に未来を 大阪狭山  第2案 めぐる恵 「水」と共に生きる 大阪狭山  第3案 めぐる「水」 共に生きる 大阪狭山</li> <li>・第1案が良いと思われる方は3名、第2案が良いと思われる方は2名、第3案が良いと思われる方は8名となった。</li> <li>・キャッチコピーについては、第3案 めぐる「水」 共に生きる 大阪狭山 で決定したいと思うがどうか。</li> </ul>
委員	(異議なし)
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4-1、2、この内容について、意見があればお願いしたい。</li> </ul>
委員	<p>(資料4-1について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4章に現在の取り組みと今後考えられる取組の例が書かれていて、わかりやすいとは思ったが「今後考えられる取組の例」は、実際に行う前提の施策なのかどうか。実施する見込みをどの程度のものとして想定しているのか、実施の本気度のようなものが、計画に記載する内容としては気になった。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この記載は、協議会の構成団体、庁内関係部署にアンケート調査した際に、自由な取組アイデアとして考えられるものを自由なご意見としていただいております、それを集約し、カテゴリー毎に例示したものとなっている。ご指摘のように、大阪狭山市が確実に実施するものと誤解を受けることは避ける必要がある。ここに記載しているのはあくまでアイデアであり、予算・担当などが確保されているものではない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書であるので、全て網羅して記載してしまうと現状の体制で全ての施策を行うことは難しく、一方で記載しないとメニューが少ないように見えてしまう。読む人によってはこれを全て実施すると捉えられる場合も考えられる。そこを誤解のない表現にしてもらいたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 ページの景観について、現在の取り組みとして、川・池の除草・清掃と記載されているが、狭山池クリーンアクションが入るのではないか。生態系のところにはバタフライガーデンの整備・管理は入っているため、狭山池クリーンアクションを入れていただきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の協議会の意見でもあったが、出来る限り実施している取組は記載する方向でお願いしたい。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 ページの生態系について、「いきものが水を強くする」、景観のところで「水が四季を活かす」と書かれているが、少しわかり辛いため、それぞれ、「水で生き物を豊かにする」、「水が風景を彩る」・「水が景色を彩る」のような表現が内容に合っていると思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同様に、利水について、「水の音が聞こえる」と記載されているが、他の施策では行為や先の方向性を示す言葉となっているが、ここだけ状態を表しているようで、わかり辛い感じを受けた。全体のトーンを揃えて欲しい。</li> </ul>
委員	<p>(資料 4-2 について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 章に未来の姿と計画の目標というタイトルがあり、3つの柱が目標だと思うが、どこが目標であるのかがわかり辛い。</li> <li>・ 第 5 章の計画推進のための取組の部分、どうやって評価をするかは、難しいが、PDCAのCのところなどで、こういう手順・レベルで評価しますという例が載っていてわかりやすく感じた。ただ、施策を継続して取り組んでいるかという評価にはなっていないように感じた。水循環計画の中で立てた目標がどれだけ達成できたかという評価ができるかどうか疑問に思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「3つの柱は、未来の姿を実現するための目標であり、今後想定される課題を解決するための基本的な方針を表しています」という文言について、表現を調整する。目標はキャッチコピーや未来の姿で、これを実現するための大きな方針が3つの柱で、実現するための手段が施策ということになると考えている。</li> <li>・ 水循環計画に従って施策を進める中で、PDCAによっては直接的に確認することが難しいが、どのように表すのが良いのかは、課題が残るとこ</li> </ul>



	<p>ろと認識している。柱・方針・施策が実行されているかどうかはP D C Aで測ることができ、これらの柱・方針・施策は目標を実現するために必要なものと考えているので、この達成状況を測ることで、間接的には設定した目標が達成されているかどうかを見ることができるようになっているものと考えている。ただし、短期的・中期的という期間を区切った形では測り辛いということは認識をしている。これをどのように評価していくかは、3月までには整理し辛いものではある。本計画を進行していく中で、来年度以降もフレキシブルに計画を見直しつつ、対応することを想定している。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の実施状況の評価としては適切なものだと思うので、例えば10年後に目標の達成度を評価しますなどといったことが書かれていると良いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画は、個々を進捗管理するような建付ではなく、それぞれの事業者が円滑に上手く事業を進められるように連携を組むようなことを想定している。協議会において、様々な行政主体や、民間、住民、将来的には企業など、多様な方々と連携をしていきながら、先程ご検討いただいたキャッチコピーの「大阪狭山市の水」を将来に向かって健全な形でつくっていきたいと思う。いろいろな意見が確認できる場としての協議会を想定しており、定量的な評価は難しいが定性的な評価、評価というよりも皆さんに見ていただき、確認をしていくようなスタイルへ改善していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの案になるが、当面10年ではここまでは実施すると決めたという取組と、その先、将来には実施したいと考えている取組を時間軸として分けて記載するという形が考えられる。そのような流れで示されれば、ここまでは10年で実施するということがわかりやすいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほども触れられていた今後考えられる取組の例だが、最初一読していると、今後このようなことを具体的に進めていくようなイメージを受けた。特に三津屋川など固有名詞が出ている部分については、本当に三津屋川に公園ができると誤解を受けるように感じる。さくら染めなど商品名も入っているので、計画書の記載が独り歩きしてしまう恐れがある。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの意見も含めて、今後考えられる取組の例については表現の工夫をお願いしたい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本編の8つの施策について、施策毎に実現する姿の記載があるが、治水のところだけは3つの柱とリンクされているが、他のところはひとつになっている。教育でも水を活かす取組があってもよいと感じるし、コミュニティは防災にも大きく関連してくると思われるので、水から守る取組があってもよいのではないか。治水以外についても、3つの柱に関連付けた取組の姿を記載する方が、よりわかりやすいものになるのではと感じた。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4-2の38ページに3つの柱と8つの施策のイラストがあるが、3つの柱が8つの施策とどのように対応しているのかを明記するという趣旨か。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4章で、施策それぞれの中で記載はされているが、治水だけが3つの柱と関係付けられている。他の施策でもあっても良いと思われる。無理に記載する必要はないが、関連付けられるところは再掲になっても関連付けた方が良いのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーの件と一部重複するが、資料4-2の表紙と32ページでの「～水害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち～」というサブタイトルの扱いを決めておきたい。</li> <li>・表紙にはキャッチコピーである「めぐる「水」 共に生きる 大阪狭山」が入る。ここにサブタイトルが入ると、タイトルとキャッチコピーとサブタイトルの3つが入ると構造が複雑になってしまう。表紙はタイトルとキャッチコピーのみにするとして、32ページではサブタイトルはあっても良いが、取ってしまっても良いのではないか。意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・32ページに「キャッチコピーを設定しました」と記載されているので、違和感が生じるのではないか。水害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち、水をキーワードとしたにぎわいのあるまち大阪狭山になる未来を、定性的な目標とし、その目標を実現するために3つの柱を設定して、それぞれの取組を進める、という建付けになっているように理解した。</li> <li>・これらが大阪狭山市の水をキーワードとした将来の姿、目標であると記載すれば上手く表現できるのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち」というのは、</li> </ul>

	<p>3つの柱を導入する呼び水のような役割を果たしていると理解した。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピーとしてではなく、未来の姿として「水害が少なく、豊かな水・みどり、にぎわいのあるまち」にしますという目標を立てると記載されていればよいのではないかと。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頂いた意見を踏まえて、第3章の冒頭での、キャッチコピーを設定しました、といった記載を修正し、黒枠の部分には、サブタイトルは入れず、左肩の【キャッチコピー】という記載も外した上で、先程決めたキャッチコピーだけを記載するということとしたい。</li> </ul>
委員	<p>(異議なし)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4-2での第1章の見出しに「計画の基本的なこと」とあるが、固い文章なので、「計画の背景」などの表現とした方が適切と感じる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5ページの関連計画のところ、教育に関連して、地域と学校が連携して取り組むコミュニティスクール制度が次年度から本格的に始まる予定である。水にも関連することになると思うので教育委員会に確認して反映を検討いただきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の広報のところに関連するが、事務局として当該計画に関する年報の発行は考えているか。他の自治体では年報を出していることがある。例えば、地下水に関する生データなど自然科学的データを年に1回取りまとめ出している事例がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道白書など大阪府や企業団で出されているデータはあると認識しているが、本計画のための市独自での対応は想定していない。</li> <li>・1月20日頃での答申を想定していますので、1月10日頃までにご意見をいただければと考えています。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日予定していた議事等はこれで終わりとなりました。</li> </ul>
	<p><b>4. 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>